

図書・資料室だより

起業を応援する本



『**お店づくりのABC 小さなカフェのつくり方**』
柏木珠希:著
辰巳出版 2011年

「自分らしいお店をひらく」という夢をかなえたオーナーにインタビュー。開業への想い、準備の過程、失敗したこと、開業費用などを紹介します。

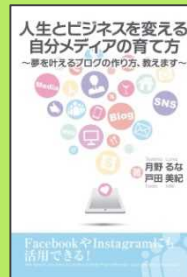


小商い



『**マイペースで働く! 女子のひとり起業**』
滝岡幸子:著
同文館出版 2015年

時間と場所を自由に調整しながらマイペースに仕事をしたいなら「ひとり起業」。様々な起業のタイプや起業に先立って考えなくてはならないこと、お金の話などを解説。



起業ノウハウ



『**しが農業女子のはじめかた—農業女子 就農ガイドブック—**』
滋賀県農政水産部農業経営課:発行 2018年

近年、農業を仕事にしたいと願う女性が増えてきています。滋賀にも様々な道のりで就農し、いきいきと輝く農業女子がいます。そんな先輩農業女子の取り組みを紹介。



農業

『**N女の研究**』
中村安希:著
フィルムアート社 2016年

N女とは、社会貢献を目的として活動する企業や団体で働くことを選んだ女性たち。彼女たちが目指すのは、社会のさまざまな課題を自分のスキルを活かして解決することだが、離職する者も多い。N女へのインタビューを通して、その働き方と現実と迫る。



NPO・社会起業家



さんかく☆ミニ講座

男女共同参画に関する、ことばや数字を紹介するコーナーです

ワンオペ育児



「ワンオペ」とは、飲食店などの店舗での一人勤務という過酷な労働環境を指す言葉、「ワン・オペレーション」（和製英語）のことです。この言葉が広まり、「ワンオペ育児」という派生語もできました。この「ワンオペ育児」は、パートナーの単身赴任や残業過多など、何らかの事情によって一人で育児を行うことを表現しています。特に共働き世代で、仕事・家事・育児の労働を一人でこなすママの辛さがこの言葉を生み、2017年の流行語大賞にもノミネートされています。



本県においては、昭和55年（1980年）以降、夫、妻共に就業者である世帯は増加傾向にあります。夫婦が承認と共感で歩み寄り、「ワンオペ育児」に陥ることのないようにしたいものです。

(参照：パートナーしがプラン2020 滋賀県)

“はじめる”本



G-NET シネマ

4月28日(土)13:30~

『ホームスイートホーム』

監督：栗山富夫 / 出演：神山繁、酒井美紀、小林稔侍他

2003年/日本/112分

元オペラ歌手の祖父は認知症で、部屋でも街頭でも力の限り歌い徘徊する毎日。苦悩する家族はある決断をする。《参加無料&申込不要》

- 図書・資料室 ご利用案内**
- 開室時間 9：00～17：00
 - 4月の休室日 2日,9日,16日,23日,24日.
 - 貸出 (本・雑誌) 15冊 3週間まで (ビデオ) 2本 1週間まで
 - お問い合わせ先(電話)
 - 0748-37-3735 (図書・資料室直通)
 - 0748-37-3751 (センター代表)
 - ☆県内在住・在勤・在学の方は、どなたでもご利用いただけます。





図書・資料室だより

貸出ベスト 2017

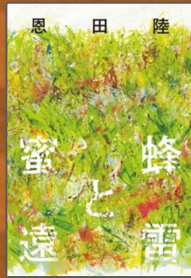
2017年の一年間でよく読まれた本を紹介します。

『蜜蜂と遠雷』

恩田陸：著
幻冬舎 2016年

第156回直木賞・2017年本屋大賞W受賞作。

ピアノコンクールを舞台に、出場する者それぞれの心情を綿密な取材と7年にのぼる執筆で描き切った青春群像小説。



『九十歳。何がめでたい』

佐藤愛子：著
小学館 2016年

社会に対する、“怒り”を“ユーモア”で返す痛快エッセイ28編。歯に着せぬ語り口で、次々と世間を斬っていく。耳の痛いことを言ってくれる年長者は今となつては貴重。売上100万部突破のベストセラー。



『コンビニ人間』
村田沙耶香：著
文藝春秋 2016年

第155回芥川賞受賞作。大学卒業後も就職せず、コンビニでアルバイトを続ける36歳未婚女性。いつしかコンビニが彼女の居場所になっていく。世の中の「普通」を押し付ける周囲の人々との物語。



『ヨーコさんの“言葉”それが何ぼのことだ』
佐野洋子：著
講談社 2016年

大好評『ヨーコさんの“言葉”』第2弾！
ベストセラー絵本『100万回生きたねこ』に込められた切ない願い。ヨーコさんのおかしく、優しく、鋭い“言葉”の数々を楽しめる1冊です。



『ダメ女たちの人生を変えた奇跡の料理教室』
キャスリーン・フリン：著
きこ書房 2017年
料理を通して、参加者の女性たちの意識が変わっていく様は圧巻です。



『本の時間を届けます』
篠賀典子・芹澤健介・北條一浩：著
洋泉社 2016年
「本にかかわる仕事」を選択した女性たち。その仕事のスタイルはさまざまでした。



『置かれた場所で咲きなさい』
渡辺和子：著
幻冬舎 2012年
制約のなかで努力し、自分の可能性を追求していこうと思えるようになる作品です。



男女共同参画に関する、ことば
や数字を紹介するコーナーです

さんかく☆ミニ講座



72人

先月開催された平昌五輪では、国内の出場選手124人のうち、女性選手が過去最多の72人となりました。前回のソチ五輪では初めて女性の数が男性を上回り、今回は女性が約6割を占めています。メダルの獲得数では、男性が5個、女性が8個となっています。

女性選手の活躍がめざましい一方で、日本オリンピック委員会（JOC）に加盟する61競技団体での女性役員の割合は約11%で女性役員がゼロの団体が11もある*など、意思決定等の場での女性の活躍の機会はまだまだ少ないようです。

※公益財団法人笹川スポーツ財団 2016年調査

“しまう”本



「しまう」という言葉には、終わる、片付ける、なくす、などの意味があります。新年度に向けて、出発のための準備をはじめてみませんか。

図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00~17:00
 - 3月の休室日 5日・12日・19日・22日・26日
 - 貸出 (本・雑誌) 15冊 3週間まで
(ビデオ) 2本 1週間まで
 - お問い合わせ先 (電話)
0748-37-3735 (図書・資料室直通)
0748-37-3751 (センター代表)
- ☆県内在住・在勤・在学の方は、どなたでもご利用いただけます。



♪ひとこと♪

「しまう」「やめる」をキーワードに本を集めてみると、「家の片づけ」から「定年」「離婚」そして「温暖化防止」までテーマが広がりました。規模の大小はあれ、「その後どうしたいか」がカギのようです。春を前に、自分はどうしたいのかを考えてみるのもいいかもしれません。

図書・資料室だより

新着図書紹介

『**専業主婦が就職するまでにやっておくべき8つのこと**』
薄井シンシア:著
KADOKAWA 2017年
『主婦ほどクリエイティブな仕事はない』『専業主婦』→「給食のおばちゃん」→「外資系一流ホテルの営業開発副支配人」を経て、現在5つ星のラグジュアリーホテルに勤務する著者の、社会と関わりを持ちたいと考える主婦たちへの厳しくも温かい応援歌。



『**おひとりさまで逝こう 最期まで自分らしく**』
三国浩晃:著
弓立社 2017年
在宅で自分らしい最期を。そんなおひとりさまの希望をかなえる納得の身じまい方を、おひとりさまの見守りから、旅立ちをささえてきた成年後見人でもある筆者が、やさしくときあかします。



『**かあさんの暮らしマネジメント 仕事、家事、人生をラクに楽しくまわすコツ**』
一田恵子:著
SBクリエイティブ 2017年

8人の働くお母さんによる、日々をラクに楽しくまわすための知恵が詰まった、リアルで役立つヒント集！



『**キラキラ共和国**』

小川糸:著
幻冬舎 2017年
鎌倉を舞台にしたベストセラー『ツバキ文具店』（2017年ドラマ化）の続編。幸せのを見つけ方、家族のあり方とは…。ここがあなたたかくなるような読後感。



『**母ではなくて、親になる**』
山崎ナオコ:著
河出書房新社 2017年
赤ちゃんが1歳になるまでの著者の子育てについて描かれています。育児において、親の性別によって役割分担が決まることへの疑問も投げかけられている社会派エッセイ。



『**戦う姫、働く少女**』
河野真太郎:著
堀之内出版 2017年
ジブリの少女やディズニープリンセスは何と戦い、どう働いたのか。ポップカルチャーのヒロインを読みとくことで、現代女性の働き方が見えてきます。



『**85歳のチアリーダー**』
滝野文恵:著
扶桑社 2017年
何かを始めるのに「ちょうどいい時期」は待っていても来ない。85歳の今も現役チアリーダーの著者。その生き方からパワーをもらえます。



さんかく☆ミニ講座

男女共同参画に関する、ことばや数字を紹介するコーナーです

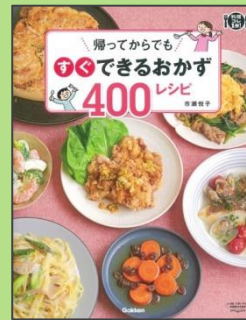
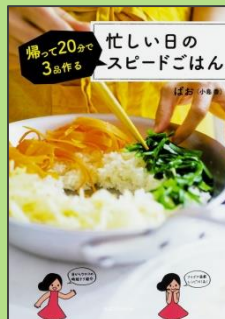
県女性活躍推進企業認証制度



滋賀県では、女性の活躍推進に取り組む企業・団体を応援するため、「滋賀県女性活躍推進企業認証制度」を2015年6月より実施しています。「新卒採用者の10年目定着率の男女差」や、「女性正規従業員比率」など、32項目ある基準の達成状況に応じて、企業を「三つ星」「二つ星」「一つ星」として認証しています。2017年末時点での認証企業は171社です。



新着料理本



図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00~17:00
- 2月の休室日 5日、13日、19日、26日。
- 貸出 (本・雑誌) 15冊 3週間まで (ビデオ) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先(電話)
0748-37-3735 (図書・資料室直通)
0748-37-3751 (センター代表)
- ☆県内在住・在勤・在学の方は、どなたでもご利用いただけます。



G-NET シネマ

2月24日(土)13:30~
『スペースカウボーイ』
監督:クリント・イーストウッド
/2000年/アメリカ/130分
故障して軌道から外れた旧式衛星を修理すべく、スペースカウボーイたちが再結成。不屈の精神とユーモアと勇気を胸に、いま飛び立つ。
《参加無料&申込不要》